

2012.10【vol.28】

水シター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西支社 発行

水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水シター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- | | |
|---|-----|
| 1. 関西管内の気象および水源状況 | 1p |
| 2. 地震被害を少なくするぞ!
～機構の備え～ | 6p |
| 3. 関西管内技術研究発表会 開催される! | 7p |
| 4. 疑問?に答えるコーナー 積立金の状況って ? | 8p |
| 5. 機構からの出向者紹介 | 9p |
| 6. 平成24年度 第2回水資源機構施設見学会の開催 (お知らせ) | 10p |
| 7. 『仕事への取り組み方等キャッチフレーズ (関西いろはカルタ)』 をご紹介 | 10p |
| 8. イベント情報 (今後の予定) | 11p |
| 編集後記・水源地マラソン紀行 (その4) | 12p |



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

1. 関西管内の気象および水源状況

9月の中頃には、台風第16号の影響により、西日本太平洋側から沖縄・奄美にかけて大雨・暴風となり、16日～18日にかけて、名張川にある高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムで、まとまった降雨があったためゲート放流を行いました。

月の終わりには、列島を縦断した台風第17号の影響により、全国的に大雨・暴風・高波・高潮となり、木津川4ダム（高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダム、比奈知ダム）では、国土交通省と連携して、統合操作を行いました。また、日吉ダムでは防災操作を、高見機場（正蓮寺川利水）では排水機場を運転し内水排除を行いました。

台風17号に伴う出水により、64%まで低下していた日吉ダムの貯水率は、10月2日には95%まで回復しました。

～ 水資源機構(関西管内)の水源状況 ～

平成24年10月2日 9:00現在

施設名	貯水位(標高. m)	貯水量(万m ³)	貯水率(%) ^{※2}	降水量(mm) ^{※3※4}	
				(観測値)	(平年値)
高山ダム	116.05	1,249	90.5	228	171
青蓮寺ダム	272.48	1,500	97.4	339	208
室生ダム	286.97	622	95.0	242	197
布目ダム	278.83	874	97.1	266	174
比奈知ダム	291.49	910	96.9	378	242
一庫ダム	135.07	1,312	98.6	170	175
日吉ダム	174.94	1,521	95.1	113	167
琵琶湖	B.S.L. -12cm ^{※1}	—	—	253.6	189
7ダム 合計	—	7,988	95.7%	—	—

※1 琵琶湖水位は、10月2日 6:00の水位を表示しています。

※2 貯水率は、6月16日より夏場に必要の利水容量を基に計算しています。

※3 降水量について、琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点降水量を表示しています。

※4 降水量は、9月1日～30日までの累計値です。

～ 水資源機構(関西管内)ダムの防災業務状況 ～

施設名	防災態勢 発令日時	
高山ダム	9月18～20日	9月30日～10月3日
青蓮寺ダム	9月18～19日	9月30日～10月1日
室生ダム	9月18日	9月30日～10月1日
布目ダム	—	9月30日～10月1日
比奈知ダム	9月17～19日	9月30日～10月1日

※上記のダムで、ゲート放流した期間を示しております。

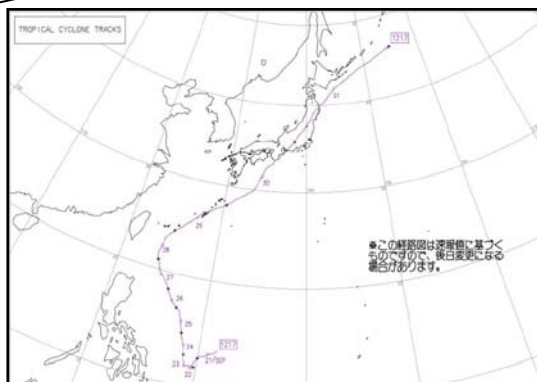
水資源機構の関西管内における各ダムの貯水状況は、関西支社ホームページの水源情報に掲載しております。

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigenn/suigenn.html>

(緊急特報) 台風17号

9月21日にフィリピンの東側海上で発生した猛烈な台風17号は、9月28日から10月1日にかけて、全国に影響を及ぼしました。

水資源機構では、筑後川局管内以外のほとんどの事務所が防災体制に入りました。

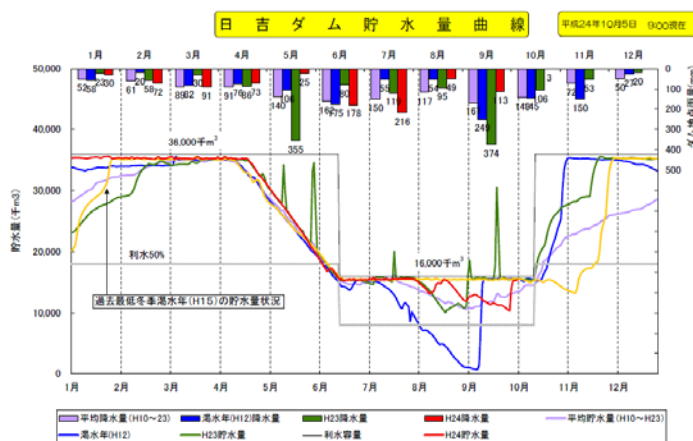


台風17号経路図
(出典元：気象庁ホームページ)

もたらされた降雨により、日吉ダムの貯水位回復！！

淀川水系桂川の日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、台風17号の降雨により、9月29日20時から10月1日2時までの総雨量が93mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

これにより、64%まで低下していた日吉ダムの貯水率は、10月2日には95%まで回復しました。



青蓮寺ダム・比奈知ダムの防災操作により、名張川(上名張・名張地点)のはん濫を回避

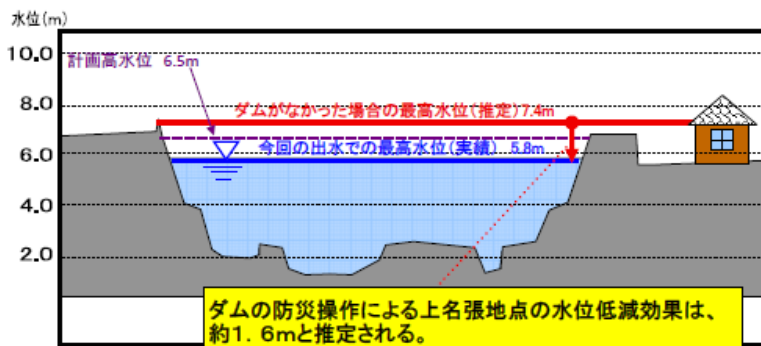
淀川水系名張川の水資源機構青蓮寺ダム、比奈知ダム流域では、台風17号の降雨により、9月30日8時から10月1日0時までの総雨量が青蓮寺ダム流域では190mm、比奈知ダム流域では222mm（ともにダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、最大の流入量は青蓮寺ダムが毎秒567立方メートル、比奈知ダムが毎秒396立方メートルとなりました。

この出水に対して、青蓮寺ダムと比奈知ダムでは防災操作を実施し、ダム下流の洪水被害軽減に努め、ダムがない場合と比較した場合、上名張地点（鍛冶町橋下流）では約1.6m、名張地点（名張大橋下流）では約1.0mの河川水位を低減したものと推定されます。

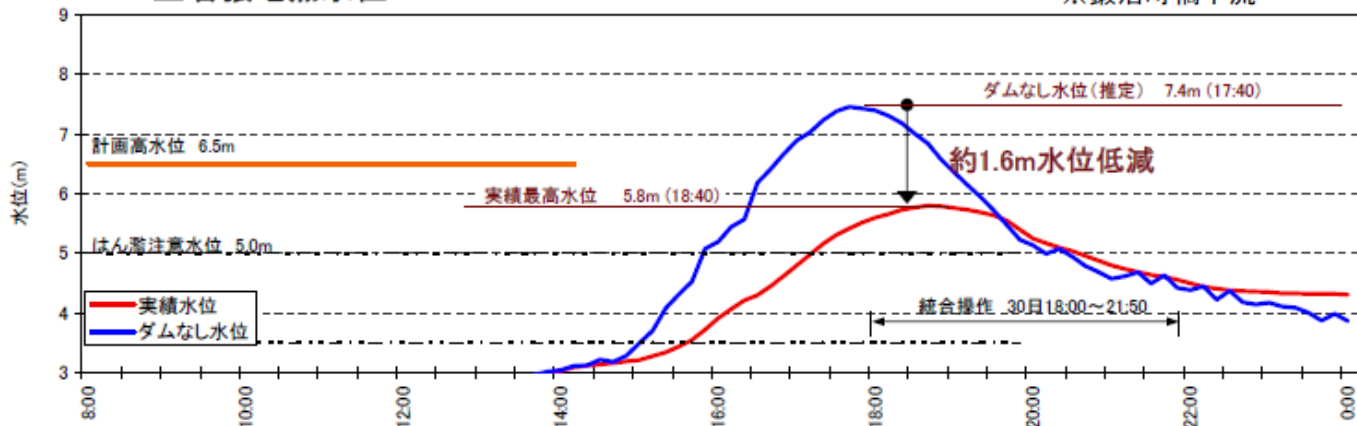


名張川上流2ダムの防災操作状況図(上名張地点)

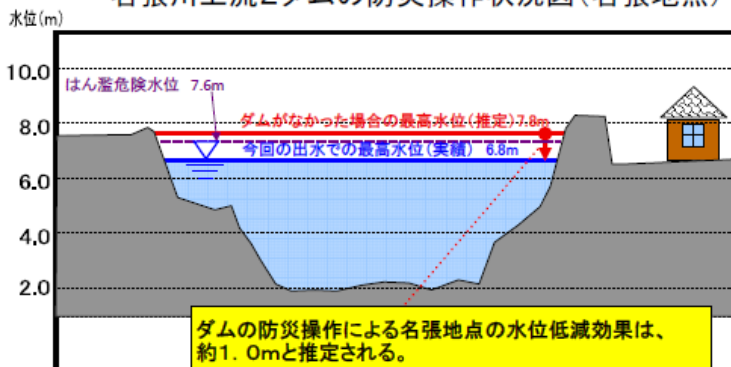


上名張地点水位

※鍛冶町橋下流

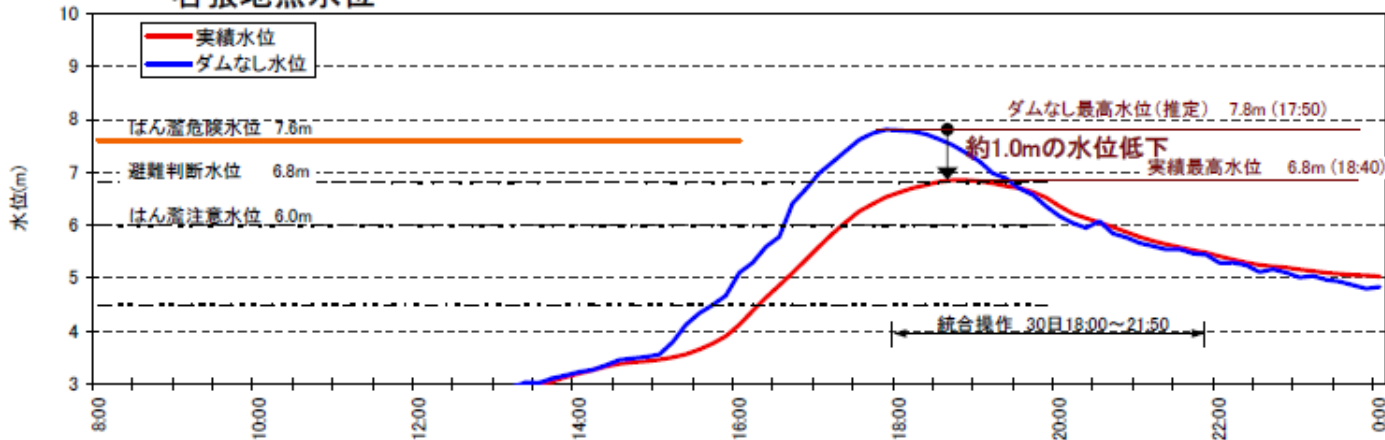


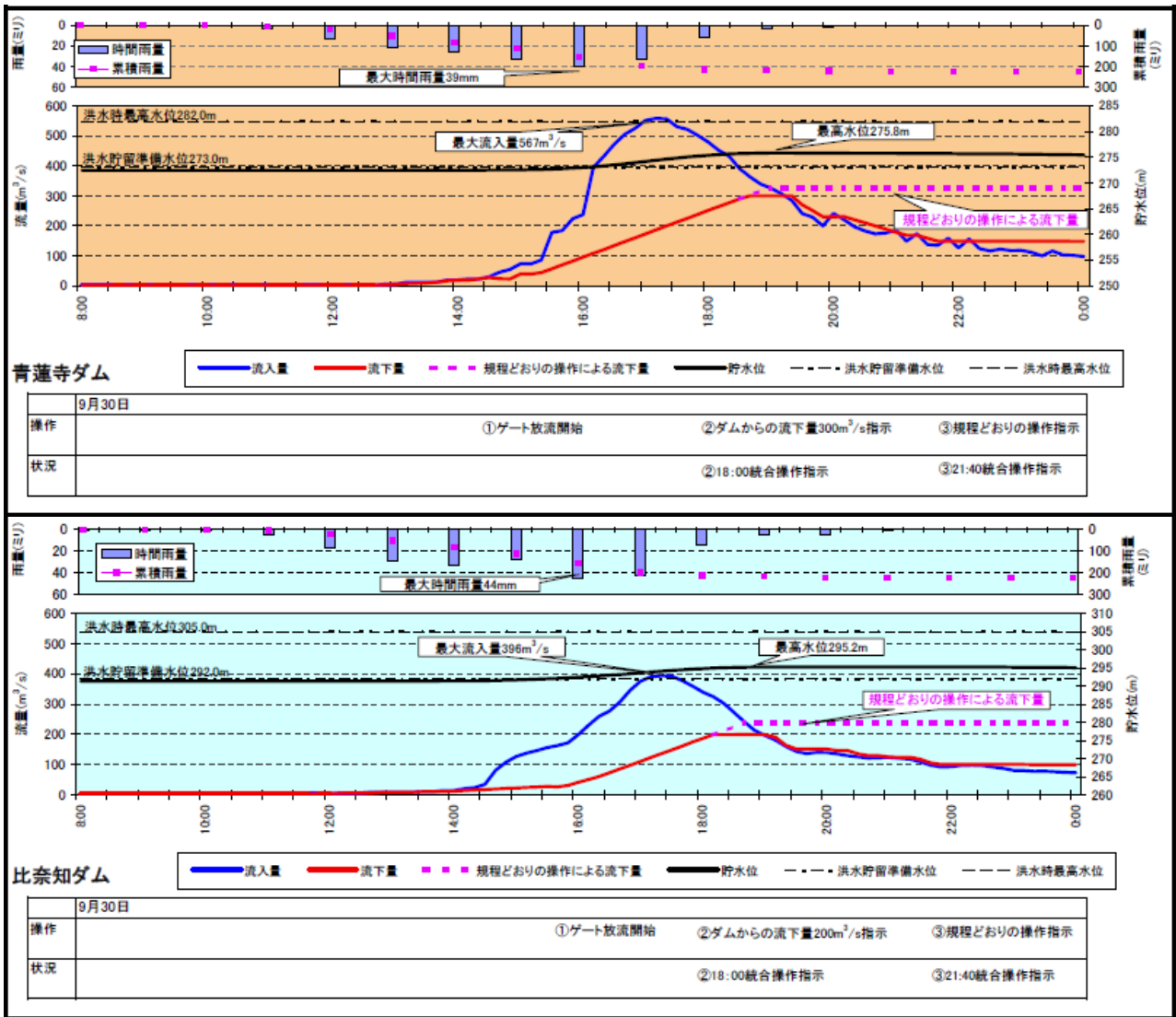
名張川上流2ダムの防災操作状況図(名張地点)



名張地点水位

※名張大橋下流



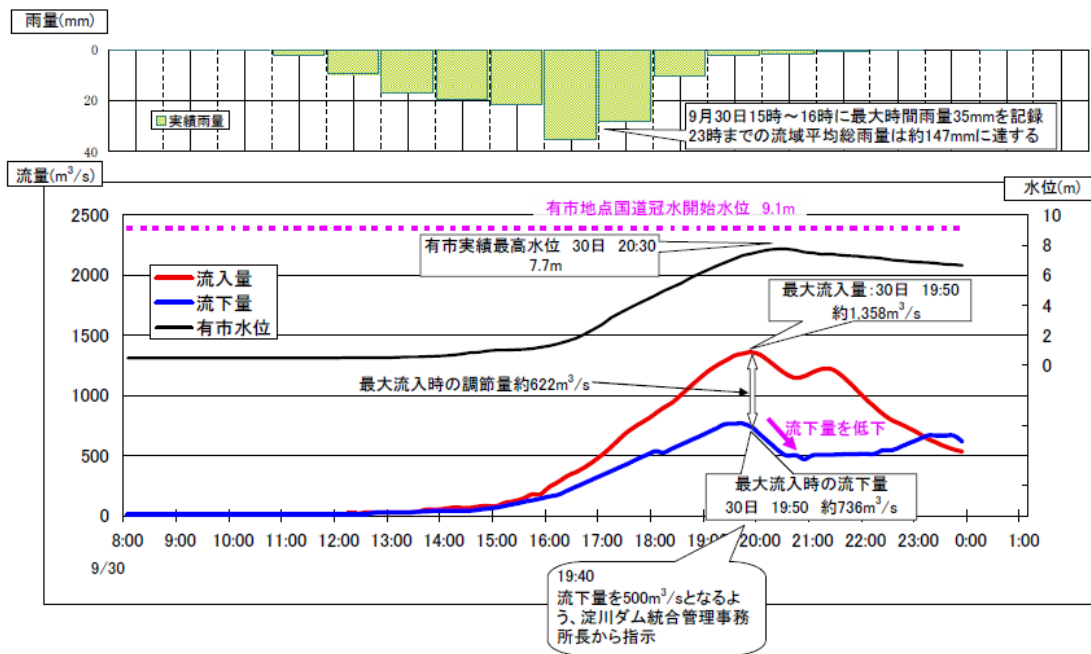


高山ダムの防災操作により 木津川(有市地点)の水位を0.8m低減

平成24年9月30日に水資源機構が管理する高山ダム流域では、午前7時の降り始めからの総雨量が147mm（最大時間雨量35mm）に達し、ダムへの最大流入量は毎秒1,358立方メートルを記録しました。

この降雨による出水に対し、ダム下流の木津川沿岸の洪水被害軽減のため、国土交通省淀川ダム統合管理事務所長の指示により、ダムからの最大流下量を毎秒500立方メートルとする防災操作を実施し、ダムがない場合と比較した場合、ダムから下流の有市水位観測所付近の河川水位を0.8m低減したものと推定され、下流河川の洪水被害軽減に効果を発揮しました。





台風17号に伴う高山ダムの防災操作効果



ダムにより約0.8mの水位低減効果がありました。



利根川水系の取水制限を全面解除

利根川水系では、9月11日(火)9時より10%の取水制限を開始しましたが、その後、一時的に河川流況が改善したため、9月24日17時から一時的に取水制限を緩和しており、更に、9月30日からの台風17号による降雨に伴い、利根川上流8ダムの貯水量が回復し、河川流況も改善されたため、利根川水系渇水対策連絡協議会では、10月3日10時をもって取水制限を全面解除となりました。

10月3日0時現在			
・利根川上流域の降水量			
9月	221mm	平年比	104%
・利根川上流8ダム貯水状況			
1億9,654万m ³	貯水率	43%	平年比 74%

※利根川上流の各ダムは、7月から9月までの洪水期が終わり、10月1日より非洪水期の利水容量となりました。このため、貯水率の基準(分母)となる利水容量が変わりました。

2. 地震被害を少なくする%! ～ 機構の備え ～

～地震防災訓練～

防災週間の9月4日に水資源機構では一斉に地震防災訓練を行いました。訓練を行うことによって、地震発生時に素早く情報を集め、被災箇所を復旧するなど、職員の防災意識や対応能力の向上を目的に行っています。

また、この防災週間以外にも阪神淡路大震災が発生した1月17日にも毎年地震防災訓練を実施しています。

訓練は、地震発生を知らせるメールの受信から始まります。

今回は通勤途中に地震が発生したことを想定した訓練のため、電車の中で職員は先ず安否報告訓練を行い、事務所に参集します。集まってきた職員により防災本部を立ち上げると同時に現場から続々と届く情報を整理し関係機関へ送ったり、現場で想定した被災箇所の応急復旧工事の方法を検討する等、その対応を確認します。現場では実際に巡視や点検を行いその状況を報告する訓練も実施しています。

先の東日本大震災においても、水資源機構は被災した事務所に全国から応援職員を派遣し、用水の供給施設を早期に復旧することに全力を尽くしました。

また、海水淡水化装置などを被災地へ派遣するなどの支援も行いました。

東南海地震等の発生も懸念されており、大規模な地震に対して水資源機構が担う使命を十分発揮でき少しでも被害を少なくすることを目指し、今後も万全の体制で管理を行って参ります。



関西支社防災本部で訓練を行う職員



現場で機械設備の点検訓練を行う職員

(関西支社 施設管理課)

3. 関西管内 技術研究発表会 開催される!

去る9月20、21日の2日間にかけて立売堀^{いたちぼり}にある建設交流館において「関西管内技術研究発表会」が行われました。

発表者30名を含め参加者165名（うち、関係行政機関、利水者26名）が参加し、発表数は30題で過去最高となりました。

優秀賞7題、特別賞2題を選びました。優秀賞は、本社での論文発表に値する優れた論文内容と発表技術の者を表彰、特別賞は優秀賞に準ずる論文で、論文発表者の創意工夫及び努力の程度が顕著な者を表彰します。優秀賞の内訳は、一庫ダムから3題、木津川ダムから2題、琵琶湖開発から1題、日吉ダムから1題となりました。特別賞は中津川管理室及び木津川ダムから1題ずつ選ばれました。

表 受賞論文一覧

優秀賞(本社での本選へ推薦)

論 文 名	発 表 者 所 属	発 表 者 氏 名
冷濁水放流問題の克服を目指して ～「日吉ダム冷濁水対策マニュアル(案)」の5年間の運用実績～	日吉ダム管理所	かわかみ たかひろ 川上 貴宏
管理水力発電設備の有効利用に関する一考察 ～自由な発想の下での更なる管理費用縮減検討～	一庫ダム管理所	こがや なおき 子川 直樹
降水変動のダムへの影響と管理の方向性(考察)	一庫ダム管理所	やすえ こうじ 安江 孝治
木津川ダム群の下流浸水被害軽減のための防災操作	木津川ダム総合管理所 管理課	みうら ひろひさ 三浦 博久
琵琶湖での役割を知ってもらうために	琵琶湖開発総合管理所 総務課	きら みつる 吉良 充
一庫ダム非常用洪水吐ゲート設備ワイヤロープバランス改善	一庫ダム管理所	いのうえ たけのり 井上 剛謙
室生ダムクレストゲートの振動特性と動的安定性の解析について ～微小開度放流で、信頼あるダム管理へ～	木津川ダム総合管理所 室生ダム管理所	ふじた まさき 藤田 正樹

特別賞

全長11km! 機動的組織力により実現した布目ダム管理用光ケーブル敷設	木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所	はまな みちのり 濱名 通徳
高見機場の耐震補強について	関西支社 中津川管理室	わきや わたる 脇谷 渉

2日目には特別講演として、大阪電気通信大学石井教授による「振動現象や流体関連振動による事故事例の紹介」との演題で約1時間講演いただきました。

なお、優秀賞は11月20、21日に本社開催の水資源機構技術研究発表会に推薦されました。



優秀賞・特別賞受賞者



大阪電気通信大学石井教授による特別講演

(関西支社 設計環境課)

4. 疑問?に答えるコーナー

積立金の状況って?



6月に開催した「水資源機構の積立金に関する説明会」以降の状況などについてお答えします。

※ 積立金とは、決算において利益が生じた場合に、利益剰余金の一部として計上されるものです。



今年6月に積立金の活用に関する説明を受けたが、それ以降の状況は?



平成24年7月31日に国土交通省において「独立行政法人評価委員会水資源機構分科会等合同会議」が開催されました。

会議では、「利益剰余金の有効活用についての基本的な考え方」の現時点での検討状況や検討の方向性などを説明しました。

今後の方針として、利益剰余金の取り扱いについては、会議での意見などを踏まえて、引き続き検討することとなりました。

また、平成24年8月27日には、次期中期目標期間の利益剰余金の活用額を踏まえた平成25年度予算の概算要求について、主務省である国土交通省へ登録しました。



今後、積立金をどのように活用するの?



機構は、次期中期計画や新法人へ移行後も、「①人件費の負担等の軽減」、「②管理費負担軽減のために行う施設整備等」や「③金利変動などの将来のリスク等への対応」に対して積立金を有効に活用し、利水者の皆様や国へ還元していきたいと考えています。



積立金を活用するためにどのような手続きが必要なの?



積立金の活用にあたっては「独立行政法人通則法」や「独立行政法人水資源機構法」に定める手続きが必要となります。

第3期中期計画の主務大臣(厚生労働、農林水産、経済産業及び国土交通大臣)の認可



積立金の処分の承認(国土交通大臣)



独立行政法人評価委員会水資源機構分科会による事前のチェック



積立金の活用



(事後のチェック)

○【業務実績】評価委員会の評価 ○【財務諸表】主務大臣(国土交通大臣)の承認、監事の意見聴取、評価委員会の意見聴取、会計監査人の監査、主務大臣(厚生労働、農林水産、経済産業及び国土交通大臣)との協議

◎ 「疑問?に答えるコーナー」に取り上げて欲しい疑問がありましたらご遠慮なくお知らせ下さい。

(関西支社 利水者サービス課)

5. 機構からの出向者紹介

国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所の開発工務課で働く『長谷川 章仁さん』を紹介します。

長谷川さんは、平成9年に水資源開発公団に入社し、今年の4月に琵琶湖開発総合管理所から現在の事務所に出向して、天ヶ瀬ダム再開発事業を担当しています。

天ヶ瀬ダム再開発事業は、現在の放流能力を増強するため、天ヶ瀬ダムの左岸側にトンネル式放流設備を建設します。併せて、京都府の水道用水として毎秒0.6m³の新規開発および発電能力の増強をします。今年の8月には、放流設備の流入部工事とゲート室部外工事の2件の発注を行いました。その際、水資源機構在職時に道路トンネル等の工事経験をしたことを活かすことができ、発注作業に取り組めたとのこと。



琵琶湖河川事務所に勤務する長谷川さん

天ヶ瀬ダム下流には、宇治平等院など重要文化財があり、その周辺地域は都市計画法の風致地区として指定されているため、工事用道路のルート選定および関係機関協議の立案に苦勞しているとのこと。また、工事に必要な用地買収を行うため、地権者および関係者に対しての工事説明や交渉も行っているそうです。

本年8月14日の豪雨により、宇治市が被災した際には、国交省の TEC-FORCE※の一員となり、災害復旧の対策工を検討するなど、この半年で本当に様々な業務を経験されています。



トンネル式放流設備施設概要図(施設配置図)

TEC-FORCE※（緊急災害対策派遣隊）とは、

地震・水害・土砂災害等の大規模自然災害に対応するため、被災地方公共団体（自治体）等が行う被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するために国土交通省に設置されたものである。 英称 (Technical Emergency Control Force)

国交省での業務は多忙で、毎日遅くまで仕事をしてお大変そうですが、職場における人間関係は非常に恵まれているらしく、何か課題や問題が生じたら、周りの職員がフォローし合いながら業務を遂行して行くような体制が整っており、何事も相談しやすい職場環境だそうです。

今後も体調を崩すことなく、持ち前の明るさと技術力を発揮されることを願っています。

水レター「びわ湖・よど川」では、次号からも出向者の紹介を連載して参ります。



担当している業務内容の説明をする長谷川さん(右側)

(関西支社 利水者サービス課)

長谷川さん(ご本人)よりPR

平成23年5月の出水では、水資源機構琵琶湖開発総合管理所で内水排除操作を経験し、今年は、琵琶湖河川事務所での瀬田川洗堰の防災操作を経験しました。

琵琶湖の出水(防災)に関して、水機構と国交省の施設操作を経験したのは、“僕一人だけ”ではないでしょうか!?これもまた、いい経験をさせてもらいました。

6. 平成24年度 第2回水資源機構施設見学会の開催について(予告)

11月15日(木)・16日(金)において、今年度2回目の利水者を対象とした施設見学会を実施いたします。

施設見学会は、両日とも、11時から17時にかけて、京都府南丹市に位置する日吉ダムを見学いただき、ダムの役割や操作、水質保全の取り組みなどを説明させていただいた後、利水者の方々と意見交換をさせていただきます。

詳細は、後日案内文を送付いたしますので、是非ご参加ください。

水道用水(利水者)

京	都	府
大	阪	広域水道企業団
伊	丹	市
阪	神	水道企業団



日吉ダム



7. 「仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(関西いろはカルタ)」のご紹介

第一次南極越冬隊長などを歴任した西堀榮三郎博士らが選んだ創作ことわざ「西堀かるた」があります。それは、ユーモアと示唆に富み、その面白さと生活に“希望を与え、決心を促し、人生を楽しむ”西堀かるたは近年賛同者が増えています。水資源機構関西支社でも、「西堀かるた」に習い、国民や利水者の皆様からの更なる信頼を得て、より強い組織づくりを図るため、職員一人ひとりの仕事への取り組み方、定時退庁の呼び掛けや心構え等も含めた日頃の業務の指標として、「関西いろはカルタ」を平成23年度に作成いたしました。

関西管内の事業所で取りまとめた『仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(関西いろはカルタ)』を紹介いたします。



次回は、『む』、『う』、『ぬ』です。

8 イベント情報(今後の予定)



今年も、それぞれの機関のイベントが予定されております。詳しくは、下記に記載する各イベントのホームページをご覧ください。

行事名	開催時期	開催場所	主催	概要
ひよし水の杜フェスタ 2012	10月28日(日)	スプリングパーク	・ひよし水の杜フェスタ実行委員会	模擬店、フリーマーケット、ステージイベント、フィールドイベントなど
	(南丹市ホームページより 9月下旬より掲載予定) http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/			
建設技術展 2012 近畿	10月31日(水)~11月1日(木)	マイドームおおさか (大阪市中央区本町橋 2-5)	・日刊建設工業新聞社 ・(社)近畿建設協会	技術展示、パネルディスカッション、橋梁模型製作コンテストなど
	(建設技術展 2012 ホームページより) http://www.kyokai-kinki.or.jp/kengi2012/top.html			
山添ふれあいまつり	11月3日(土)	山添村ふるさとセンター(主会場:多目的広場) 奈良県山辺郡山添村大西	・山添むらまつり実行委員会	地元のとれたて野菜や特産品の販売、演芸、芸術作品の展示、菊花展など
	(山添村役場ホームページより 10月上旬より掲載予定) http://www.vill.yamazoe.nara.jp/			
第2回来て見て体験 in 村野浄水場	11月4日(日)	大阪広域水道企業団 村野浄水場 枚方市村野高見台 7-2	・大阪広域水道企業団	地元自治体、企業、NPOなどによるブース展示、体験コーナーや販売コーナー
	(大阪広域水道企業団村野浄水場ホームページより) http://www.wsa-osaka.jp/gaiyou/murano/tirasi.html			
2012 むら生き行まつり	11月23日(金)	南山城村総合グラウンド及び高山ダム・少年自然の家	南山城村	地元のとれたて野菜や特産品の販売、演芸など
	(南山城村ホームページより) http://www.vill.minamiyamashiro.lg.jp/contents_detail.php?frmlid=862			

水レター「びわ湖・よど川」に掲載するイベント等がございましたら、

下記アドレスまでご連絡ください。(耳寄りな情報もお待ちしております。)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp

編集後記・水源地マラソン紀行(その4)

今年の夏は太平洋高気圧が本州付近に張りだしたため、夏場での気温が高く、猛暑日が続いていましたが、秋分の日頃を境にやっと涼しく感じられるようになりました。ほとんどの行政機関と企業において節電をしていたため、例年より暑く感じられたのではないのでしょうか。何はともあれ、秋の到来はへたれランナーにとってうれしい限りです。

水源地マラソンを始めて3年目となります。秋からは各ダムの大大会にエントリーしておりますが、特に今年は「大阪マラソン」に抽選で当たってしまったこともあり、夏場の走り込みは昨年に比べ多くなりました。事務所のある大阪上町から吹田市の自宅まで約15kmの帰宅RUNも週一度するようにしたこともあり、7～9月は月あたり何とか150kmを走りました。一庫ダムの友人ランナーは月あたり300kmを超えたというから驚きです。

10月に入ると各地でレースが始まります。10月14日に余呉湖健康マラソン（丹生ダムのふるさと）10月27日には淀川（淀川大堰、正蓮寺川利水）を30km走る大会、11月18日には一庫ダムマラソンにエントリーしています。これら大会のへたれ模様は次号以降でお伝えしますのでお楽しみにして下さい。とにかく一生懸命、地元の方々とふれ合いながら、心を込めて走りたいと思います。（ダムを走る男）



ダイハツ中里選手と握手した一庫ダムマラソン



抽選で地元名産が当たった余呉湖健康マラソン

水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、
下記アドレスまでご連絡ください。（耳寄りな情報もお待ちしております。）

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp

水資源機構では、平成24年3月16日より、新たな情報提供手段として公式ツイッターを始めました。



水資源機構ツイッターのURLは、
http://twitter.com/jwa_PR

ツイッターを通じ、水資源機構ホームページに掲載している情報等を発信してまいります。
水資源機構として、これまで以上にタイムリーで広がりのある情報発信に取り組んでいきますので、
皆様からのフォローをお待ちしています。是非ご利用下さい。